

令和7年度第2回  
埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議

資料

# 本日の議題

1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について
2. 令和8年度当初予算案におけるケアラー支援関連事業について
3. 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

- 議題 1 と議題 2 を一括して審議
- 令和 7 年度各種取組と令和 8 年度当初予算案を説明
- その上で、以下 2 点につき、御議論をお願いしたい
  - ① 令和 7 年度 of 取組に係る評価
  - ② 令和 8 年度までの第 2 期計画の数値目標の達成や支援の更なる充実に向けて取り組むべきこと

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する 各種取組について

# 前回会議（令和7年度第1回会議）の振り返り

## 主な意見と現状での県の対応

### ①周知先となるチャンネルの拡大

- 「（ワーキングケアラー支援について）もう少し周知先のチャンネルを増やす必要がある」
  - ☞ 埼玉県経営者協会様から経済6団体に周知、埼玉県中小企業団体中央会様広報誌に記事掲載
- 「専門学校も大学・短大などに含まれていてサポートをしていくべきなのか」
  - ☞ ヤングケアラー・若者ケアラー向けオンラインサロンを95専修学校、20各種学校に周知(R7.9)

### ②支援の質の向上

- 「相談窓口や研修などは、更なる質の向上を目指したいという点が共通している」
  - ☞ アセスメントシートや支援計画シートの活用、受講者同士のロールプレイなど、より実践的な内容に

### ③相談窓口の分かりやすさ

- 「分かりやすい相談窓口の周知、多様な世代に配慮した周知が望まれる」
  - ☞ ケアラー・ヤングケアラーの相談窓口の分かりやすさについては、今後改善に向けた検討が必要

### ④支援の担い手確保

- 「経験を活かして県内で発信などの活動をするケアラーが出会える場や拠点が必要」
  - ☞ ケアラー支援人材の育成と団体同士のネットワーク構築については、中長期的な課題

## 意見の総括・今後の方向性

- 周知先となるチャンネルの拡大に今後も取り組む（金融機関を通じたチラシの配布について調整中）
- 研修は実践的な内容に重点を置き、市町村による包括的な支援体制の整備も推進
- 窓口の分かりやすさ改善や支援の担い手確保は、次期計画も見据えながら検討を推進

# 前回会議（令和7年度第1回会議）の振り返り

## 仕事と介護の両立支援の取組チラシ

（表面）

令和7年度版  
福祉部・産業労働部

埼玉県  
埼玉県

### 埼玉県内企業・従業員の皆様へ

## 仕事と介護の両立支援のための取組のご紹介

### 具体的な対応策を知りたい

#### 労働セミナー「仕事と介護の両立支援」～企業が取り組む具体的な手法～

企業にとって、従業員が安心して仕事と介護を両立できる環境を整えることは、人材の確保・定着、そして企業の持続的な成長に繋がります。企業における仕事と介護の両立を支援する具体的な手法を、専門家が詳しく解説します。

埼玉県公式YouTubeチャンネルで一般公開中（無料）

①介護の実態把握の具体的な手法  
<https://youtu.be/pgR0HIGY3A>



②情報発信・情報提供の具体的な手法  
<https://youtu.be/UNIXUqJIE8g>



企業

### 職場の支援制度へのアドバイスが欲しい

#### 企業へのアドバイザー派遣

相談員が企業を訪問し、仕事と介護の両立のための支援についての相談や説明会の実施、両立支援制度の導入や雇用環境の整備に関するアドバイスを行います。

埼玉県ホームページで申込受付中（無料）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0809/rodo/seikatsu-ryouritsu/index.html>

申込用紙はこちら→



企業

### 両立の悩みを相談したい

#### 仕事と生活の両立支援相談窓口

介護などで仕事の継続にお悩みの方からの相談を「仕事と生活の両立支援相談窓口」で受け付けています。相談員がお答えするほか、必要なサービスの提供窓口のご案内や、役に立つ情報の提供を行います。

電話：048-830-4515（無料）

月・火・水・金 9:00～16:30（うち火曜日は原則隔週で11:00～19:00）

その他ホームページからも受付中。詳細は県ホームページをご確認ください →



企業

従業員

【問合せ先】 産業労働部雇用・人材戦略課 電話：048-830-3963 mail:a3960@pref.saitama.lg.jp

（裏面）

### 仕事と介護の両立のポイントを知りたい

#### 配信動画「仕事と介護の両立のために」

従業員

様々なデータや、実際に仕事と介護の両立に向きあった方々のインタビューなどを通じて、介護離職の現状や望まない介護離職を防ぐための知識・心構えをお伝えしています。

- 対象者  
・企業従業員の方全般（企業内研修にも活用できます）
- 内容  
・データから読み取る介護離職のリスク  
・介護離職経験者と両立経験者の双方の実体験  
・専門家や企業、地域包括支援センター職員の声も収録



埼玉県公式YouTubeチャンネルで一般公開中（無料）

[https://www.youtube.com/watch?v=Pj\\_EtIo4MS4](https://www.youtube.com/watch?v=Pj_EtIo4MS4)



←こちらからご視聴ください

### ロールモデルを見つけたい

#### 仕事と介護の両立事例集

従業員

仕事と介護の両立に取り組んできた方のエピソードを複数収録しており、ご自身のロールモデルを見つけていただくことで、両立のノウハウなどを効果的に得られます。

- 対象者  
・主に企業従業員のうち介護をしている方又は近いうちに介護を予定している方
- 内容  
・金融管理職、システムエンジニア、教員など幅広い職種を網羅  
・悩み、葛藤など華やかな成功物語ではない、等身大の姿を描写  
・主介護者だけでなく副介護者も含み、多様な介護の在り方を提示



埼玉県ホームページで一般公開予定（無料）

### 講義をしてほしい

#### 県政出前講座「ビジネスケアラー（ワーキングケアラー）支援について」

企業 従業員

県民・事業者の方に向けて県職員が出前講座を実施しています。介護を取り巻く現状や介護への向き合い方、両立のポイントを詳しく解説します。

埼玉県ホームページで申込受付中（無料）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/demae/riyouannal.html>



←こちらからお申込みください

【問合せ先】 福祉部地域包括ケア課 電話：048-830-3256 mail:a3250-03@pref.saitama.lg.jp

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標1 ケアラーを支えるための広報啓発の推進

### 【主な取組】

- ケアラー月間（11月）での集中的な啓発等

## 基本目標2 行政におけるケアラー支援体制の構築

指標① ワンストップ型総合相談窓口等の設置市町村数  
（目標値）令和9年4月1日 全市町村

### 【主な取組】

- アドバイザー派遣、研修・**担当者情報交換会**実施
- **実践報告書作成**

## 基本目標3 地域におけるケアラー支援体制の構築

指標② 介護者サロンを設置する市町村数  
（目標値）令和9年4月1日 全市町村

### 【主な取組】

- 介護者サロン設置・運営支援研修

## 基本目標4 企業におけるケアラー支援体制の構築

指標③ ビジネスケアラーに関するセミナー等受講企業数  
（目標値）令和6～8年度の累計 2,000企業

指標④ 地域包括支援センターの認知度（30～50代）  
（目標値）令和8年度 70%

### 【主な取組】

- 仕事と介護の両立**事例集の作成**
- 企業の経営者・人事労務担当者向けセミナー

## 基本目標5 ケアラーを支える人材育成

指標⑤ ケアラー支援を担う人材の育成数  
（目標値）6,000人（令和3～8年度の累計）

### 【主な取組】

- ケアラー支援関係機関向け研修・**医療従事者向け研修**
- 地域福祉活動者向け研修
- 県政出前講座の実施

## 基本目標6 ヤングケアラー支援体制の構築・強化

指標⑥ ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修  
の受講者数  
（目標値）2,000人（令和3～8年度の累計）

指標⑦ こどもの居場所の数  
（目標値）令和8年度 800か所以上

### 【主な取組】

- ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修
- **大学教職員等向け研修**
- ヤングケアラー・若者ケアラー向けLINE相談の実施
- ヤングケアラー・若者ケアラー向けオンラインサロンの開催
- ヤングケアラー支援スタートブックの活用
- ヤングケアラー授業デザインキットの活用
- こどもの居場所づくりアドバイザーの派遣
- こどもの居場所フェアの開催

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標1（広報啓発）～ケアラー月間での啓発～

### ■ メッセージ動画の公開

キャッチコピー **誰かを支えるあなたも支える。**

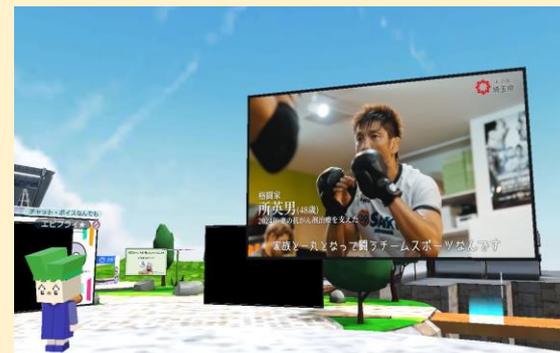
- ・RIZINファイターで、ケアラーの所英男選手のメッセージ動画を作成
- ・市町村、金融機関、県有施設、埼玉高速鉄道駅・車内、イオンなどのサイネージで放映



「全てのケアラーに敬意を込めて」



川口市SKIPシティでの放映



バーチャル埼玉での放映

### ■ ケアラー月間パネル展の開催

- ・ケアラーの方の体験談等を記したパネルを県内22市町1団体で開催

#### 【パネル展の主な内容】

- ・ケアラー・ヤングケアラー支援
- ・仕事と介護の両立支援
- ・ケアラー・ヤングケアラーの体験談

※パネルは県ホームページで公開中

「介護が大変だから仕事をやめないと…」  
ちょっと待って！本当にそれでいいの？  
介護離職の実態

毎年約10万人が介護離職  
介護離職は介護を始めて1年未満で起きやすい  
介護離職の原因は中年代層を顕著に押し上げ、世代別で顕著な差がみられる  
「決めたら戻らない」とは限らない  
離職しても精神面、肉体的、経済面で負担軽減と期待できるケースも増加  
離職してから介護離職は難しい  
再度働き始めるまでの期間が半年以上かかっている

介護の介護に直面するのは  
働き盛りで介護に直面した方の声  
介護離職は企業にとっても大きな損失です  
合計9割1,792世内の経済損失

パネル(仕事と介護の両立支援)

「VOICE」ケアラー・ヤングケアラーの思い

「介護は大変だから仕事をやめないと…」  
ちょっと待って！本当にそれでいいの？  
介護離職の実態

パネル(ワーキングケアラー)



パネル展の様子（さいたま市）

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標1（広報啓発）～ケアラー月間での啓発～

### ■ 特別番組の公開

- ・所英男選手・ヴィニシウス選手のドキュメンタリー
- ・地域包括支援センターへの取材
- ・ワーキングケアラーの方へのインタビュー
- ・視聴回数：516回（R8.1末現在）



所英男選手

ヴィニシウス選手



### ■ 地域包括ケア漫画 ～みんないつかは年をとる～

- ・「地域包括ケアシステム」について理解を深める漫画（全11巻）
- ・第8巻が「介護者支援編」、第9巻が「ヤングケアラー編」
- ・令和7年度に初めて、県庁オープンデーでマンガを配布

令和7年度末  
待望の続編刊行予定！  
「介護事前準備編」「ワーキングケアラー編」

第8巻 介護者支援編



第9巻 ヤングケアラー編



県ホームページ



Book Shelf 埼玉



県庁オープンデーの様子

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標1（広報啓発）～ヤングケアラーハンドブック～

- ・小学4年生へ約7万部を配布（中学1年生、高校1年生についてはデータ配布）
- ・児童の成長段階に合わせ、小学生編、中学生編、高校生編の3種類を作成
- ・中学生編、高校生編はヤングケアラーや周囲の友人に向けたメッセージを掲載
- ・小学生編は、信頼できる大人に伝えるために切り離し可能な「伝えたいことカード」を添付



県ホームページ Book Shelf 埼玉

### ヤングケアラーって なに？

家事や家族の世話などをしている  
ヤングケアラーのことを知るために

小学生編



彩の国 埼玉県

### ヤングケアラーって なに？

家族のために日常的に家事や家族の世話などしている  
ヤングケアラーのことを知るために

中学生編



彩の国 埼玉県

### ヤングケアラーって なに？

家族のために日常的に家事や家族の世話などしている  
ヤングケアラーのことを知るために

高校生編



彩の国 埼玉県

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標2 (行政における支援体制の構築)～総合相談窓口～

### ■ 市町村へのアドバイザー派遣

- ・ワンストップ型総合相談窓口等は、既にR7.4.1に全市町村で設置完了
- ・今後、更なる連携深化や重層的支援体制整備事業実施の後押しが必要
- ・各市町村の実情に応じた支援を行うため、引き続きアドバイザー派遣を実施
- ・派遣済 : 12市町 (川越市、秩父市、飯能市、春日部市、東松山市、越谷市、朝霞市、志木市、新座市、日高市、横瀬町、寄居町)
- ・派遣予定 : 3市 (行田市、深谷市、吉川市)



アドバイザーによる講義

※派遣実績及び予定はR8.1末現在  
※R6 : 11市町

### ■ 研修・情報交換会

#### ① 包括的支援体制・重層的支援体制整備事業説明会・情報交換会

- ・内容 : 包括的支援体制の構築や重層事業の実施に当たっての理解促進や疑問解消を図るため、国講演や市町村実践報告、情報交換を実施
- ・実績 : 301名 ※R6 : 321名

#### ② 重層的支援体制整備事業担当者情報交換会

- ・内容 : 担当者のピアサポートや自治体間の横のつながり構築のため、悩み等を共有する意見交換を実施
- ・実績 : 54名 ※令和7年度に初めて実施



②担当者情報交換会の様子

#### ③ 重層的支援体制整備事業委託研修

- ・内容 : 関係者連携や地域づくり支援のため、県外も含めた先進自治体による講演や意見交換を実施
- ・実績 : 122名 ※R6 : 138名

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標3 (地域における支援体制の構築)～介護者サロン～

### ■ 介護者サロン設置・運営研修

・内容：R6県作成の「介護者サロン設置・運営実践マニュアル」を活用

①ケアラーの実態、ケアラー支援の必要性、介護者サロンの必要性とその効果(基礎研修)

②介護者サロンの立上げ・運営のノウハウに関するグループワーク等(実践研修)

・実績：241名(R8.1末現在) ※R6：432名

#### 本日の目標

- ① 介護者サロンの立ち上げ実務、運営実務を理解し、より効果的な運営をする
- ② 「介護者サロン等運営実践マニュアル」を基に、研修後の実践が可能とする

#### プログラム

1. 基礎研修の振り返り
2. 介護者サロンの企画と運営方法
3. 参加者の集客と周知の工夫
4. プログラムの構成と運営手法
5. 事例紹介とグループワーク
6. 運営上の課題と解決策

実践研修資料



実践研修資料

#### 参加者層の設定

男性介護者限定の会も開催しています。

介護者サロン等運営実践マニュアルP41

事例5 入間市 ①茶々まる ②お茶メン

開催形態	介護者サロン
運営主体	入間市東金子地区地域包括支援センター
参加対象者	介護者であればどなたでも参加可能な女性介護者限定の会も開催
開催地域	入間市東金子地区
開催頻度	①茶々まる：奇数月 第1水曜日 (年6回) ②お茶メン：季節ごと 第1土曜日 (年4回)
資金源	地域包括支援センター委託費
実施方法	チラシの配布、市のHPへの掲載、ケアマネサロンや介護予防教室での紹介
担い手	東金子地区地域包括支援センター職員
連絡先	入間市東金子地区地域包括支援センター 電話番号：04-2960-6322

開催のきっかけや背景

●入間市は、埼玉南西部に位置しており、令和5年時点、人口は14万人、高齢化率は30.7%、東金子地区は、入間市の中央に位置しており、人口15,944人、高齢化率は34%と市平均の高齢化率より高くなっている。

●東金子地区は、障害福祉サービス事業所が多くあり、病院が3つある。この地区にお住まいの方は単独世帯や高齢者世帯が多く、老老介護の状況も見られることから、地区センターになじみを持っていてくれる方も多く見受けられる。

●東金子地区地域包括支援センターは、東金子地区センター内にあり、支所・公民館・自治会・教室・地域づくりなどの拠点として令和5年4月にスタートした。

●地域づくりとして得意でないかと思いき、地域ケア会議の中で、定常運営が多く、定常が多く移動が大家、ダブルケアなどの地域課題も出ており、近場での介護者家族会のニーズがあったことから、令和5年9月に介護者家族会の「茶々まる」を立ち上げることにした。

●茶々まるを奇数月に開催する中で、男性介護者がなかなか参加されない状況を受け、令和6年10月に男性介護者限定の介護者家族会「お茶メン」を立ち上げ、その後、季節ごとに1回、開催を継続することになった。

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標4 (企業における支援体制の構築)～仕事と介護の両立～

### ■ 配信動画「仕事と介護の両立のために」(R6)

- ・金融機関セミナーや県政出前講座で紹介するなど周知を継続
- ・対象者：主に企業従業員の方（企業内研修での活用も想定）
- ・内 容：①データから読み取る介護離職のリスク  
②介護離職経験者と両立経験者の双方の実体験  
③専門家や企業、地域包括支援センター職員の声も収録
- ・視聴数：17,592回(R8.1末現在)



動画から抜粋



### ■ 仕事と介護の両立事例集(R7)

- ・仕事と介護の両立に取り組んできた方のエピソードを複数収録し、自身のロールモデルを見つけることで、両立のノウハウを効果的に会得
- ・対象者：主に企業従業員の方（企業内研修のツールとしての活用も想定）
- ・内 容：①金融業管理職、システムエンジニア、教員など幅広い職種を網羅  
②悩み、葛藤など華やかな成功物語ではない、等身大の姿を描写  
③主介護者だけでなく副介護者も含み、多様な介護の在り方を提示
- ・県ホームページで令和7年度末までに公開予定



事例集から抜粋

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標4 (企業における支援体制の構築)～仕事と介護の両立～

### ■ 働き方改革セミナー「大介護時代」の職場づくり (R7)

- ・基調講演や先進企業による事例紹介、パネルディスカッションにより、2025年問題と介護の現状、介護保険制度の基礎知識、取り組むべきことなどを提供
- ・対象者：県内企業の経営者又はお勤めの方
- ・オンデマンド配信：R7.12.2～R8.3.13
- ・実績：90企業受講 (R8.1月末現在)



※R6：258企業受講



セミナーチラシ

### ■ 労働セミナー「仕事と介護の両立支援」(R7)

- ・企業の人材確保や定着、持続的な成長のため、従業員の仕事と介護の両立を支援する具体的な手法を解説
- ・対象者：事業者・その他関心のある方
- ・オンデマンド配信：R7.6.30～
  - ①介護の実態把握の具体的な手法
  - ②情報発信・情報提供の具体的な手法
- ・実績：453企業受講 (R8.1月末現在)



※R6：133企業受講



セミナー配信画面



### ■ 県政出前講座の実施「ワーキングケアラー支援について～仕事と介護の両立のために～」

- ・一般県民等に向けて県職員が出前講座を実施
- ・ワーキングケアラー支援が求められる背景や仕事と介護の両立のポイント等について、動画も用いて解説
- ・実績：4企業受講 (R8.1月末現在)

※R6：6企業受講

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標5（人材育成）～研修の実施～

### ■ ケアラー支援関係機関向け研修（全6回）

- ・対象：市町村職員、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、社会福祉協議会等
- ・内容：①ケアラー・ヤングケアラーの特徴、支援を行う上での課題、支援の目指すところなど（基礎研修）  
②ケアラーアセスメントの意義・必要性・活用方法、ケアラー支援計画の作成など（実践研修）
- ・実績：453名(R8.1末現在) ※R6：798名

### ■ 地域福祉活動者向け研修（全4回）

- ・対象：主任児童委員、民生・児童委員、こどもの居場所運営者等
- ・内容：①ヤングケアラーの基本的な理解、気付くポイント、信頼関係の築き方  
②地域福祉活動者の実践報告  
③ゲストスピーカー（元ヤングケアラー）による体験談  
④気付く、見守り・声かけ・話を聴く、支援につなぐを想定したロールプレイ
- ・実績：216名 ※R6：340名



研修の様子

### ■ 医療従事者向け研修

- ・医療従事者や元ケアラーの方へのインタビュー等を通じ、支援のポイントを解説
- ・病院医療編と在宅医療編の2種類の動画を作成
- ・県の医師会、歯科医師会、看護協会、薬剤師会、訪問看護ステーション協会等の職能団体を通じ周知
- ・実績：965名（R8.1末現在） ※令和7年度に初めて実施



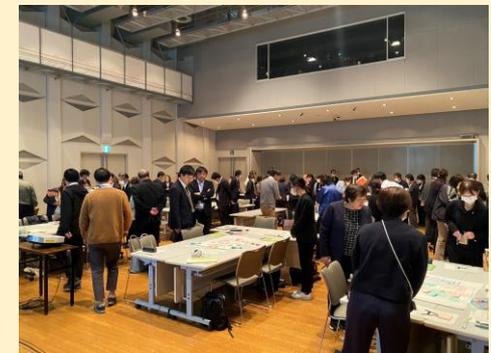
# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標6 (ヤングケアラー支援) ～研修の実施～

### ■ 教育・福祉合同研修 (全5回)

“福祉部局と教育局が連携して取り組む人材育成 (顔の見える関係づくり)”

- ・対象：学校の教員、市町村の福祉担当課の職員等
- ・内容：①ヤングケアラーの基本的な理解・支援体制づくりのポイント  
②市町村ヤングケアラーコーディネーターによる実践報告  
③学校におけるヤングケアラー支援  
④地区ごとにグループを形成し事例検討(R7は3年後の状況も検討するなど、時系列仕立て)
- ・実績：339名 ※R6：361名



研修の様子 (ワールドカフェ)

### ■ 大学教職員等向け研修

- ・専門家や若者ケアラーが講師となり、若者ケアラーの実像や支援のポイントを提供
- ・e-ラーニングシステムにより、オンデマンドによる講義を実現
- ・県内にキャンパスのある45大学・11短期大学・95専修学校・20各種学校に周知を実施
- ・埼玉大学、立教大学、女子栄養大学、芝浦工業大学、東京国際大学、文教学院大学、埼玉県立大学、浦和大学には、直接訪問・架電をし、プッシュ型で受講勧奨
- ・実績：110名 (R8.1末現在) ※令和7年度に初めて実施

令和7年度若者ケアラー支援に関する大学教職員等向け研修  
大学教職員等のための  
**若者ケアラー支援講座**  
お好ましく研修  
研修で学ぶ内容を  
実践できる

教室に、ゼミに、家族のケアをしながら学んでいる学生はいませんか？  
若者ケアラーが入学し、キャンパスで学生生活を送っていませんか？  
埼玉県には、すべてのケアラーががらで文化的な生活を営むことができる社会を実現することを目的とする「若者ケアラー支援条例」があり、県内の大学から研修を受けて「若者ケアラー」について学び、学校や地域での支援も進んでいます。埼玉県にキャンパスのある大学・短大等からこそ、ケアしながら学ぶ学生へのサポートについて考えてみましょう。

この講座で得られること

- 若者ケアラーの実態を知ることができ、支援のポイントを学ぶことができる。
- 若者ケアラーの生活や文化について学ぶことができ、支援のポイントを学ぶことができる。
- 若者ケアラーの生活や文化について学ぶことができ、支援のポイントを学ぶことができる。

開催日：2025年10月25日～2025年11月28日 資料 無料 研修  
※申し込みは2025年10月25日まで  
※研修費は無料です  
お申し込み：ユーザー登録 申込費：0円 申し込みURL  
※申し込みの受付は2025年10月25日まで  
お問い合わせ：研修費は無料です

主催 埼玉県福祉推進課 研修 運営 一般社団法人ケアラー・フォーラム

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標6 (ヤングケアラー支援) ～LINE相談窓口～

### ■ 埼玉県ヤングケアラーチャンネル

- ・相談対象：埼玉県内のヤングケアラー及びその保護者等
- ・開設時期：令和4年9月20日
- ・開設時間：平日11:00～20:00（相談者からの送信はいつでも可能）
- ・特徴
  - ①話を聴く相談員は全員元ヤングケアラー、経験者だからこそできる共感や助言
  - ②相談でなくとも、ただ話を聞いてもらいたいといった方も利用可
  - ③若者ケアラーの進路や就職など、キャリア相談にも対応
- ・主な相談
  - ①就職・仕事の相談(例:「ケアをしながら大学に通い、アルバイトの話しか面接で話せない」)
  - ②具体的なケアに関する相談(例:「うつ病の母のケアについて」)
  - ③将来に関する相談(例:「社会人になり、どのように家庭と離れたらよいか」)
- ・登録者数：1,065名(R8.1末現在) ← 985名(R7.7.15時点)



# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標6(ヤングケアラー支援) ～オンラインサロン～

### ■ オンラインサロン

- ・相談対象：埼玉県内のヤングケアラー・若者ケアラー
- ・開催日：年間8回開催
- ・R7実施内容
  - ①YouTubeLiveオンラインサロン  
毎回ゲストを招いてトーク、視聴者は顔出し不要・チャットOK
  - ②メタバースオンラインサロン  
アバターのリアクションによりゲーム感覚で交流
  - ③ヤングケアラーカフェ(オフラインイベント)  
グループになって日常のことやケアのことなどをゆったりおしゃべり
- ・実績：参加人数 219名 ※R6：339名(11回開催)

(YouTubeLive、メタバース、オフラインの計6回開催の合計、R8.1末現在)

普段は言えない  
「もうひとつの気持ち」  
話してみませんか?

家族のケアのこと

自分自身のこと

チャットで相談＆参加できる  
YouTubeLiveオンラインサロン

家族のケアを経験しているメンバーを中心に  
ケアの専門家ゲストを招いておしゃべりする  
オンラインサロンをYouTubeLiveで配信しています。  
ニックネームOK！顔出しは不要です。  
チャットから質問やコメントも大歓迎です！

12月11日(木)19:00～

仮想空間で話そう！  
メタバースオンラインサロン

仮想空間でアバターをつかった  
オンラインサロンを開催しています。  
普段なかなか言えない気持ちも  
話しやすく、リアクションを使って  
ゲーム感覚で交流できるのが特徴です！

11月8日(土)14:00～ 2月7日(土)14:00～

オフラインで相談＆交流しよう  
ヤングケアラーカフェ

お茶やお菓子を食べながら、ゆったりとした  
雰囲気の中で家族のことや、自分のこと、進学や  
就職の相談、交流ができるオフラインのイベント  
です！

会場：武蔵野銀行本店ビル2階 M's SQUARE

10月11日(土)13:30～ 3月7日(土)13:30～

主催 埼玉県福祉部地域包括ケア課  
委託 株式会社Compass  
info@choice-career.com  
078-600-2284

公式Webサイトでは  
イベントのお知らせや  
ヤングケアラーに  
役立つ情報を発信中！

お申込み・詳細

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 基本目標6 (ヤングケアラー支援) ～ヤングケアラー支援コーディネーター～

### ■ ヤングケアラー支援コーディネーター

市町村等のヤングケアラー支援体制の整備に関する助言や、LINE相談と連携した支援へのつなぎをサポート

#### ・業務内容

##### ①市町村等への助言

市町村・市町村社協との意見交換や助言、関係機関のコーディネート

##### ②市町村の状況把握、事例収集

市町村における課題や課題解決の手法等の状況把握、県内外の優良事例の収集

##### ③支援情報等の周知

教育・福祉合同研修等におけるヤングケアラー支援スタートブックの周知など

##### ④支援のコーディネート

LINEに寄せられた相談等について、市町村等と連携・調整するなど支援のコーディネート

・実績：106件（4～1月） ※R6：124件

・意見交換会：R8.1.15に県内市町村ヤングケアラーコーディネーターとの意見交換会を実施

（参加自治体：川口市、上尾市、蕨市、戸田市、入間市、鴻巣市、日高市）

埼玉県ヤングケアラーチャンネルの相談員も出席し、ヤングケアラーからの実際の相談内容も共有

# 1. 令和7年度ケアラー支援に関する各種取組について

## 総括

- 令和7年度は、第2期ケアラー支援計画の2年目として、引き続き広報啓発、行政・地域・企業における支援体制整備、人材育成を着実に推進
- また、仕事と介護の両立事例集、医療従事者向け研修、大学教職員等向け研修など、新たな事業にも着手
- 加えて、市町村総合相談窓口など、指標目標達成済みの事項についても、重層的支援体制整備事業の実施支援や実践報告書の作成など、支援を充実

- 一方で計画指標のうち、以下は未達
  - 介護者サロンを設置する市町村数（R7.4.1時点：57市町村/63市町村）
  - ワーキングケアラーに関するセミナー等受講企業数（R6：397企業/2,000企業）
  - 地域包括支援センターの認知度（R7：49.1%/70.0%）
- 介護者サロンは、市町村への個別訪問を実施、今後もフォローアップを予定
- ワーキングケアラー関連は、経済6団体への周知や中小企業団体中央会広報誌への掲載のほか、金融機関を通じたチラシ配布を調整中

- 指標達成や支援充実のため、計画最終年度にどのような取組が有効か。

## 2. 令和8年度当初予算案における ケアラー支援関連事業について

# 2. 令和8年度当初予算案におけるケアラー支援関連事業について

## ケアラー・ヤングケアラーを支援する施策の推進

【予算額】 46,902千円

一部新規

担当 地域包括ケア課 地域包括ケア担当  
内線 3256

### 目的

ケアラー・ヤングケアラー支援に関する広報啓発や居場所づくり、市町村等相談支援機関の人材育成支援などにより、ケアラー・ヤングケアラーを総合的に支援する。

### 事業概要

#### 1 ケアラー・ヤングケアラーを支援する施策の推進

46,902千円

##### (1) 広報啓発の推進 6,114千円

- ・ケアラー月間のイベント開催、啓発チラシの作成・配布
- ・仕事と介護の両立のための啓発

##### (2) 居場所づくりの推進 7,536千円

- ・介護者サロンの設置・運営のための研修を実施
- ・ヤングケアラー、若者ケアラー向けオンラインサロンの設置・運営

##### (3) 人材の育成 11,574千円

- ・地域包括支援センターや市町村職員等向けの研修を実施
- ・主任児童委員、民生委員・児童委員、こどもの居場所運営者等への研修の実施
- ・学校の教職員や市町村の福祉部門の職員等を対象に、教育・福祉合同研修を実施
- ・医療従事者や大学教職員等向けの研修を実施

##### (4) ヤングケアラー支援体制の整備 20,880千円

- ・ヤングケアラー支援コーディネーターの設置
- ・SNSを活用した相談窓口の設置・運営
- ・ヤングケアラーハンドブックの配布

##### (5) ケアラー支援計画の推進 (一部新規) 798千円

- ・第3期埼玉県ケアラー支援計画の策定
- ・埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議の運営

#### 新規・拡充内容

##### ▶ 第3期埼玉県ケアラー支援計画の策定【新規】

埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議での協議を踏まえ、計画を策定する。



ケアラー月間



SNS相談



オンラインサロン

# 2. 令和8年度当初予算案におけるケアラー支援関連事業について

## 医療的ケア児者とケアラーへの支援

【予算額】169,762千円

一部新規

担当 障害者支援課 地域生活・医療的ケア児支援担当  
内線 048-857-1001

### 目的

医療的ケア児等支援センターを中核として、医療的ケア児者とその家族、市町村、医療的ケア児等コーディネーター、支援機関などに対し地域の実情に応じた支援を実施する。

### 事業概要

#### 1 医療的ケア児者「18歳の壁」解消事業

13,720千円

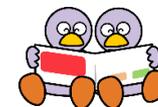
##### (1) 医療的ケア児者等受入事業所拡大事業（新規） 12,220千円

特別支援学校の卒業や放課後等デイサービスの利用終了に伴い医療的ケア者等の受入施設が少なくなる「18歳の壁」を解消するため、医師や看護師が配置されている介護老人保健施設に対して医療的ケア児者等の日中支援の受け入れが進むよう働きかける。

新規受入や受入拡大を検討する事業所に対し、受入実績のある事業所が実務的な助言支援を行う体制整備に取り組む。

##### (2) 医療的ケア児者等ライフブック作成事業（新規） 1,500千円

御家族の先行きが見えない不安を解消するため、医療的ケア児者等の退院から成人期までのライフステージごとに利用可能な資源や生活モデルをまとめたライフブックのモデルを作成して市町村に提供し、活用を促す。



#### 2 医療的ケア児者・ケアラーへの支援

156,042千円

##### (1) 医療的ケア児等支援センター事業（一部新規） 40,260千円

医療的ケア児者及びその家族等に対する専門的な相談や情報提供、関係機関等との連絡調整等を行うとともに、人材育成や市町村及び関係機関への支援を行う医療的ケア児等支援センターを運営し、医療的ケア児等への支援体制を整備する。

#### 新規・拡充内容

##### ▶ 非常用電源の整備【新規】

災害時等の非常用電源としてポータブル電源を整備



##### (2) 地域で暮らす障害児者・ケアラー支援事業 115,782千円

医療的ケアを必要とする重症心身障害児者を在宅で介護する家族の精神的・身体的負担を軽減するため、ショートステイ及びデイサービスによるレスパイトケアの充実を図る。また、事業所において医療的ケア児者等の受入を促進させるため、医療的ケアに必要な備品等の購入費用及び喀痰吸引等の医療行為を提供できる職員を養成する研修費用の補助を行う。

# 2. 令和8年度当初予算案におけるケアラー支援関連事業について

## 放課後児童クラブ・こどもの居場所づくり

【予算額】9,632,334千円

担当 こども支援課 放課後児童クラブ担当 内線 3322  
こどもの居場所担当 内線 3348

### 目的

労働等により昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図るため、授業の終了後に遊び及び生活の場を与える「放課後児童クラブ」の運営に必要な経費を補助するとともに、利用児童の増加等に対応するため放課後児童クラブの整備を促進する。  
また、こども・若者が安心して過ごすことができる、こども食堂等のこどもの居場所の新規立ち上げと継続的な運営等を包括的に支援する。

### 事業概要

#### 1 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の充実 9,585,015千円

##### (1) 放課後児童クラブの運営費・整備費等の補助 9,580,585千円

放課後児童クラブの利用児童数や開所日数、職員の処遇改善等に応じた運営費の補助及び放課後児童クラブの新設整備や既存施設の改修などの整備費の補助等を行う。  
併せて、放課後児童支援員の確保や質の向上を図るため、認定資格研修や就職フェア等の人材確保対策や巡回支援アドバイザー事業等の定着支援対策に取り組む。



##### (2) 放課後児童クラブの待機児童解消への支援 4,430千円

放課後児童クラブの待機児童を解消するため、緊急的措置として、児童館、塾、スポーツクラブ等の既存施設を活用した受け皿や多様な居場所を実施する市町村に対して補助を行う。

#### 2 こどもの居場所づくりの支援 47,319千円

##### (1) 朝のこどもの居場所づくりモデル事業 13,574千円

小学校等に見守り員を配置し、こどもを見守る「朝のこどもの居場所づくり」の整備をモデル事業として取り組む市町村に対して補助を実施・検証を行う。

##### (2) こども・若者と共につくる居場所づくりの支援 33,745千円

こどもの居場所の認知拡大及び潜在的な担い手、支援者の掘り起こしのため、「こどもの居場所フェア埼玉」を開催する。

また、「こどもの居場所づくりアドバイザー」を各地域に派遣し、こどもの居場所の新規立ち上げと継続的な運営を支援する。

さらに、市町村が地域まちづくり計画区域内で「新たなこども支援活動拠点」を整備するための経費を補助する。



「こどもの居場所フェア埼玉」の開催の様子

# 2. 令和8年度当初予算案におけるケアラー支援関連事業について

安心して働ける職場環境づくり

【予算額】60,222千円

一部新規

担当 雇用・人材戦略課 働き方改革推進担当  
内線 4518・3966

目的

誰もが安心して働くことができる職場環境を整備するために、ハラスメント対策の推進や仕事と育児・介護等との両立支援などを行う。

事業概要

1 ハラスメント対策の推進

59,660千円

(1) カスタマーハラスメント防止対策（新規）

59,044千円

- ・顧客等、事業者、事業者団体及び就業者を対象とした防止対策セミナーの実施
- ・事業者や事業者団体を対象とした基本方針の作成等を支援するコンサルタントの派遣
- ・ポータルサイトの開設及び防止対策に関する啓発活動の実施
- ・カスタマーハラスメントに関する総合相談窓口の開設
- ・カスタマーハラスメントの防止に関して優良な取組を実践している事業者や事業者団体の表彰
- ・事業者、事業者団体、就業者を対象とした実態把握調査の実施

(2) 労働教育講座

616千円

- ・労働者及び事業者を対象とした、ハラスメント防止など労働関係の身近な問題をテーマとする労働セミナーの実施

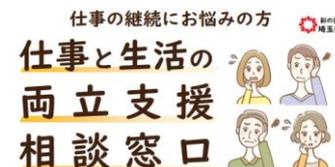
2 仕事と生活の両立支援

562千円

(1) 仕事と育児・介護等の両立支援相談

562千円

- ・「仕事と生活の両立支援相談窓口」による相談対応



# 2. 令和8年度当初予算案におけるケアラー支援関連事業について

## 教育相談等支援体制の充実

【予算額】1,598,398千円

担当（内線） 1 生徒指導課（6745）  
2、3 人権教育課（6786）

### 目的

いじめや不登校など様々な課題を抱える児童生徒を支援するため、教育相談体制を整備するとともに、学校におけるヤングケアラーや性的マイノリティへの支援体制の充実を図る。

### 事業概要

#### 1 教育相談体制の充実

1,591,383千円

##### (1) 学校等における教育相談体制の整備

1,490,855千円

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、高校相談員、精神科医を配置するとともに、中学校相談員配置市町村への助成、スチューデントサポーターの派遣、オンライン相談の実施等により、教育相談体制を整備する。

##### (2) SNSを活用した教育相談体制の整備

9,987千円

SNSを活用した相談窓口を設置し、生徒の抱える悩みや不安等に早期に対応することで、課題の深刻化を未然防止する。

##### (3) メタバース空間を活用した学習支援・教育相談体制の整備

90,541千円

メタバース空間において、不登校児童生徒に対する学習支援や相談支援を実施することで、社会的自立を支援する。

#### 2 ヤングケアラーへの支援の充実

3,275千円

##### (1) 市町村を対象としたヤングケアラーサポートクラスの実施

2,115千円

ヤングケアラーの専門家及び元ヤングケアラーを講師として招聘し、市町村を対象とした講演会等を実施する。また、支援体制を確立するための教職員向け研修会を実施する。

【ヤングケアラーサポートクラスの様子】

##### (2) 県立高校を対象とした自走式ヤングケアラーサポートクラスの実施

1,160千円

ヤングケアラーに関する授業とヤングケアラー支援策をセットにした県立高校独自のヤングケアラーサポートクラスを実施する。また、支援体制を確立するための教職員向け研修会を実施する。



#### 3 性的マイノリティへの支援の充実

3,740千円

##### (1) 性の多様性の相談に係る学校支援の実施

2,310千円

市町村立小・中・義務教育学校や県立学校からの要請に応じて、外部機関から性的指向・性自認に関して深い知識を持つ専門家を派遣し、学校における相談対応や性的マイノリティの理解促進等の取組への支援を実施する。

##### (2) オンラインサロンの実施

1,430千円

性的指向・性自認の悩みを家庭や学校に打ち明けることが困難な中学生や高校生を対象に、オンライン上で、悩みを抱える生徒同士の交流会を実施する。

改めて、

- 以下 2 点につき、御議論をお願いしたい

①令和 7 年度の取組に係る評価

②令和 8 年度までの第 2 期計画の数値目標の達成や支援の更なる充実に向けて取り組むべきこと

### 3. 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

- 第3期埼玉県ケアラー支援計画の策定スケジュールをお示し
- 第2期埼玉県ケアラー支援計画の概要と数値目標の振り返り
- 第3期の数値目標のうち人材育成について説明
- その上で、以下2点について、御議論いただきたい
  - ①第3期計画で特に力を入れるべきポイント
  - ②計画に基づく各種取組の方向性

### 3. 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

## スケジュール

日時	実施事項	内容
R8.5	・ 第1回有識者会議	・ 調査①について
R8.7	・ 調査①	・ 市町村のヤングケアラー支援に係る取組状況調査
R8.8	・ 第2回有識者会議	・ 第3期埼玉県ケアラー支援計画の施策の体系・ 数値目標の方向性について ・ 調査②について
R8.9	・ 調査② ・ 庁内連絡会議	・ 企業の仕事と介護の両立支援に係る取組状況調査 ・ 庁内でのスケジュール共有、施策内容の照会等
R8.11	・ 第3回有識者会議	・ 第3期埼玉県ケアラー支援計画(素案)について ・ 調査③について
R8.12	・ 調査③ ・ 社会福祉審議会報告	・ 県政サポーターアンケート（ケアラー及びヤングケアラーについて）の実施
R9.1~2	・ 県民コメント	
R9.2	・ 第4回有識者会議	・ 県民コメントの結果について ・ 第3期埼玉県ケアラー支援計画(案)について
R9.3	・ 議会報告・知事決裁	

※調査実施予定については、R8.2時点での見込

# 3. 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

## 第2期埼玉県ケアラー支援計画（R6～R8）の概要①

章	内容	
1 計画の概要	計画の趣旨、位置付け、期間	
2 ケアラーを取り巻く状況	2-1 ケアラーを取り巻く状況	人口・世帯等に関する状況
		福祉サービスの提供の状況
		地域における担い手の状況
		複合課題の増加
	2-2 ケアラー・ヤングケアラーの現状	ケアラー・ヤングケアラーの状況
		仕事と介護をめぐる状況
		大学生・短大生のケアラーの状況
2-3 実態調査やこれまでの取組等の結果を踏まえた課題	ケアラー支援の状況・課題	
	ヤングケアラー支援の状況・課題	
3 計画の理念と施策体系	3-1 計画の基本理念	
	3-2 施策の体系・数値目標	①ケアラーを支えるための広報啓発の推進、②行政におけるケアラー支援体制の構築、③地域におけるケアラー支援体制の構築、④企業におけるケアラー支援体制の構築、⑤ケアラーを支える人材の育成、⑥ヤングケアラー支援体制の構築・強化
4 施策の展開	基本目標ごとの施策・個別項目（※詳細は次スライド）	
	計画の進捗管理	
	SDGsの理念に基づく地域の実現	

### 3. 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

## 第2期埼玉県ケアラー支援計画（R6～R8）の概要②

基本目標	施策	個別項目
1 ケアラーを支えるための広報啓発の推進	ケアラーに関する啓発活動	
2 行政におけるケアラー支援体制の構築	1 相談支援体制の整備	市町村におけるケアラーへの相談支援体制の構築
	2 多様なケアラーへの支援	認知症の方や高齢の方をケアするケアラーへの支援
		障害者の方をケアするケアラーへの支援
		高次脳機能障害の方をケアするケアラーへの支援
		医療的ケアを必要とする児童をケアするケアラーへの支援
		小児慢性特定疾病児童をケアするケアラーへの支援
3 子育てしながら介護を担うダブルケアへの支援		
4 ケアラーの生活支援		
3 地域におけるケアラー支援体制の構築	1 ケアラーが孤立しない地域づくり	
	2 地域の見守り体制・地域住民同士の助け合いの拡充	民生委員・児童委員の活動支援 地域の支え合いの取組、NPO・ボランティア団体・自治会の地域活動への支援
4 企業におけるケアラー支援体制の構築	1 ビジネスケアラーの仕事と介護の両立支援の推進	
5 ケアラーを支える人材の育成	1 ケアラー支援の対応能力向上・連携強化	
	2 ケアラー支援を担う県民の育成	
6 ヤングケアラー支援体制の構築・強化	1 学校におけるヤングケアラー支援体制の構築	
	2 行政・地域におけるヤングケアラー支援体制の構築	

### 3. 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

## 第2期埼玉県ケアラー支援計画（R6～R8）の概要③

指標	計画策定時	目標値	実績値
ワンストップ型総合相談窓口や複合課題を調整するチームの設置市町村数	51市町村 (令和5年4月1日)	全市町村 (令和9年4月1日)	全市町村 (令和7年4月1日)
介護者サロンを設置する市町村数	55市町村 (令和5年4月1日)	全市町村 (令和9年4月1日)	57市町村 (令和7年4月1日)
ワーキング（ビジネス）ケアラーに関するセミナー等受講企業数	-	2,000企業 (令和6～8年度累計)	397企業 (令和6年度)
地域包括支援センターの認知度(30～50代)	43.7% (令和5年度)	70.0% (令和8年度)	49.1% (令和7年度)
ケアラー支援を担う人材育成数	3,590人 (令和3～5年度累計)	6,000人 (令和3～8年度累計)	5,069人 (令和3～6年度累計)
ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修の受講者数	1,078人 (令和3～5年度累計)	2,000人 (令和3～8年度累計)	1,778人 (令和3～7年度累計)
こどもの居場所の数	628か所 (令和4年度)	800か所以上 (令和8年度)	826か所 (令和6年度)

### 3. 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

## 数値目標の取扱いについて

- 第2期ケアラー支援計画（R6～R8）では、人材育成に係る数値目標として、以下のとおり2つの指標を設定している。

指標名	現状値	目標値
ケアラー支援を担う人材育成数	5,069人 (R3～R6の累計)	6,000人 (R3～R8の累計)
ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修の受講者数	1,439人 (R3～R6の累計)	2,000人 (R3～R8の累計)

- 上記をベースに、県5か年計画でも人材育成に係る数値目標を設定している。

指標名	現状値	目標値
ケアラー支援を担う福祉・教育部門の人材育成数	5,028人 (R4～R6の累計)	7,000人 (R4～R8の累計)

- 人材育成については、R8末には累計で8,000人以上となる見込みだが、介護人材や教員の数を考えれば、まだまだ道半ばと言える。
  - R7からは、医療従事者や大学教職員等、ケアラー支援の裾野を拡大するための新たな取組を始めたばかりであり、人材育成の手を緩めることは得策ではない。
- ⇒第3期ケアラー支援計画と次期5か年計画でも人材育成に係る数値目標を設定したい

改めて、

- 以下 2 点について、御議論いただきたい

①第 3 期計画で特に力を入れるべきポイント

②計画に基づく各種取組の方向性

例 - ケアラー月間のあり方

- 介護者サロンの更なる普及促進

- 人材の育成と支援関係機関同士の連携

- ヤングケアラーオンラインサロンのあり方 など